



標準的接種年齢と接種期間 ・ 日本小児科学会の考え方 ・ 注意事項

ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種期間	日本小児科学会の考え方	注意事項
ロタウイルス	生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生後6週から接種可能、①は8週-15週未満を推奨する ・ 1価ワクチン（ロタリックス®）：①-②は、4週以上あける（計2回） ・ 5価ワクチン（ロタテック®）：①-②-③は、4週以上あける（計3回） 	<p>生後15週以降は、初回接種後7日以内の腸重積症の発症リスクが増大するので、原則として初回接種を推奨しない。</p>	<p>（注4）計2回、②は、生後24週までに完了すること （注5）計3回、③は、生後32週までに完了すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1価と5価の互換性は確認されておらず、取り寄せるなどして同じワクチンでの完了を最優先させる。定期接種では嘔吐時の再投与は認められていない。詳細は厚生労働省ホームページ「ロタウイルスワクチンに関するQ&A」を参照 <p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/index_00001.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外においては、母体が妊娠中に生物学的製剤による加療を受けた児への接種は推奨されていない。 <p>https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/770826/Rotavirus_vaccination_programme_information_document_Nov_2018.pdf</p>
4種混合（DPT-IPV）	不活化	<p>①-②-③はそれぞれ20-56日（3-8週）あける （注6）③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期接種として、①-②-③の間はそれぞれ20日以上あける ・ 現時点で、就学前の3種混合ワクチンとポリオワクチンの接種を4種混合ワクチンで代用することは、承認されていない ・ 4種混合ワクチンは4回目までの接種に限られ、5回目以降の追加接種については、3種混合ワクチンかポリオワクチンを用いる
3種混合（DPT）		<p>①-②-③はそれぞれ20-56日（3-8週）あける （注6）③-④は6か月以上あけ、標準的には③終了後12-18か月の間に接種</p>		
3種混合（DPT） 学童期以降の 百日咳予防目的	不活化	<p>⑤ 5歳以上7歳未満、④より6か月以上あける ⑥ 11-12歳に接種</p>	<p>（注7）就学前児の百日咳抗体価が低下していることを受けて、就学前の追加接種を推奨。2018年度感染症流行予測調査による小児の年齢別の百日咳の抗体保有状況では、抗PT抗体価 10 EU/mL以上の保有率は、9歳で30%未満。</p> <p>https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8788-pertussis-yosoku-serum2018.html</p> <p>（注8）百日咳の予防を目的に、2種混合の代わりに3種混合ワクチンを接種してもよい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5mLを接種（2種混合ワクチンは、0.1mL）
2種混合（DT）	不活化	<p>① 11歳から12歳に達するまで</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種法では、11歳以上13歳未満、0.1mLを接種